

平成 27 年度 野外観察講習会

日 時 平成 27 年 7 月 31 日 (金)

場 所 蔵王 (観松平～中央高原～上の台)

参加者 山形市内小中学校教員 17 名

講 師 志鎌 節郎 氏 (植物案内人)

日 程 8 : 0 0 山形市総合学習センター集合・出発 → 8 : 4 0 蔵王ロープウェイ山麓駅着
1 5 : 0 0 蔵王スカイケーブル駅着 → 1 5 : 4 0 山形市総合学習センター着・解散

気持ちのよい晴天の中、予定通りに山形市総合学習センターを山形市庁バスで出発しました。8 時 50 分過ぎには、蔵王ロープウェイ山麓線に乗り樹氷高原駅へ。そして、ユートピアグレンデを登り、観松平、いろは沼を散策しました。グレンデには、ブタナがたくさん咲いていました。ノリウツギ、シロバナトウチソウ、蔵王の固有種であるザオウアザミなどの植物を教えてくださいました。また、アサギマダラも数頭飛んでいました。



ノアザミ、ウツボグサ、ヤグルマソウ、ミチノクヨロイグサなどを見ながら、中央高原方面へ。ミチノクヨロイグサは、以前ミヤマシシウドと言われていましたが、ミヤマシシウドには毛があって、ミチノクヨロイグサには毛がない。そこで、新しい名前をつけようと「ミチノクヨロイグサ」になったそうです。また、ケナシミヤマシシウドと言う方もいるそうです。

片貝沼周辺で昼食をとり、中央高原のブナの 2 次林を散策しました。今年は、木の実の当たり年だそうです。ブナの実がたくさんついていました。ブナの実が豊作なのは、だいたい 5 年に一度だそうです。また、ブナ林が自然のダムと言われる理由も教えてくださいました。ブナの落ち葉はなかなか腐敗しないのだそうです。そこで、その落ち葉で水をためることができ、それがダムのような役割を果たしているということでした。ブナ林の中には炭焼き釜後などもあり、蔵王スキー場などの歴史になどについても教えてくださいました。

ドッコ沼から蔵王大権現を参拝し、上の台へ下ります。その際、七曲登山道を降りてきました。足がくたびれてきてからの下りは、なかなか体にこたえますが、森林を感じさせる登山道でした。

講師の志鎌先生がおしゃっていましたが、今回のコースは、蔵王のコースの中では裏メニュー。それだけに、なかなか体験できないところに連れて行っていただけました。また、植物についても名前だけでなく、名前の由来や特徴、人間の生活のとのかかわりなど大変興味深く話を聞かせていただきました。すると、それらの植物が、今までとは違った見え方がしてきました。志鎌先生ありがとうございました。



シロバナトウチソウ



ヨツバヒヨドリ



ノリウツギ



ザオウアザミ



アサギマダラ



ツルアリドウシ



ノアザミ



ウツボグサ



ヤグルマソウ



ブナの2次林



上：ブナの実 下：ブナの落葉



ミチノクヨロイグサ



ミチノクヨロイグサの花はまるで「花火」のようです